

～初級から楽しく描こう～
第12期 楽しい水彩・パステル

【5月の活動報告】

- ・4月に引き続き、鉛筆デッサンの基本知識の習得と着色の基礎知識となる色彩について学んだ。
- ・今年度最初の校外学習は京橋にある山王美術館で『印象派展』の鑑賞をおこなった。

5月13日（月）鉛筆デッサン（2）明暗と形の捉え方

- ・光には3つの特徴がある（色の源泉である、直進する、光源は一つしかない）
- ・デッサンで形を表すのに補助線と輪郭線を描くが、輪郭線は仕上げまでに弱まり消えてしまう。
- ・モチーフとは描きたくなる動機（描きたくてたまらないという意味）で絵を描く上で一番大切なものである。
- ・ものの形を描く線は正方形から始まる。物の形を描く場合、4つの基本形である立体、球体、円錐体、円柱を意識する。自然のあらゆるものはこの形体か各形体の複合体であることを学んだ。

5月20日（月）色彩について（色の3属性等）

- ・色は無彩色と有彩色に分けられる。また色は「明度」「彩度」「色相」の三つの要素を持っていて、明度は明るさを表す度合い、彩度は色の鮮やかさやにぶさを表す度合いそして色相には12色の基準色があることを学んだ。
- 授業の中で各自がこの12色を絵具で作って画用紙に着色し12色相環を作成した。

5月27日（月）校外学習

今回は京橋にある山王美術館で「印象派展」を鑑賞した。

「印象派展」では、コロー、ミレー、クールベ、モネ、ルノアール、ドガ、シスレー、ルドン、ゴーガンらの作品29点を鑑賞した。

「日本画コレクション」では黒田清輝、小磯良平、富本憲吉、佐伯祐三などの日本画家の作品約60点（1900年ごろから1970年ごろの作品）をじっくり鑑賞した。

国内や海外の名画を鑑賞することは、いろいろの刺激を得られるし、また自らのスキルの未熟さも自覚させられるが、今後も日々向上心を持って作品づくりを続けたいと改めて感じた1日であった。

以上

【5月のクラス風景】

